

【図画工作・小2・「色の見えかたむげん大」】

育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

透明色紙を重ねたり並べたりすることで、いろいろな色や形がうまれることの楽しさや、その色や形の面白さについて気付いたことを交流する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げることができる。

ICT活用のポイント

○カメラ機能で作品を撮影し送信機能で共有することで、気付いたことやイメージしたことを交流し、自分の見方や感じ方を広げる。

【出会う】

透明色紙に出会い、活動への興味をもつ。

【つくる】

8色の透明色紙を重ねたり並べたりすることで、いろいろな色や形がうまれることの楽しさや、その色や形の面白さに気付く。

【広げる】

全体で、友達の作品を鑑賞し、共有することで、自分の見方や感じ方を広げる。

【振り返る】

本時での学びを振り返る

事例の概要

本事例は、自分のイメージをもちながら、透明色紙でできる様々な色や形の面白さや楽しさについて、感じたり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げることができるようにすることをねらいとしている。

【事例におけるICT活用の場面①】

児童一人一人が、透明色紙でできる色や形を、カメラ機能を活用し記録に残すことで、作り直したり変更したりすることに抵抗を感じずに積極的に試しの活動を繰り返し、多くの色や形をうみだしその面白さや楽しさに気付く。

【事例におけるICT活用の場面②】

児童一人一人が撮影した写真や、教師が児童の活動の様子から見取り撮影した作品の写真を、大型テレビに投影し、自分や友達の作品の面白さや楽しさを伝えあうことで、自分の見方や感じ方を広げる。

【図画工作・小2・「色の見えかたむげん大」】

【事例におけるICT活用場面①】



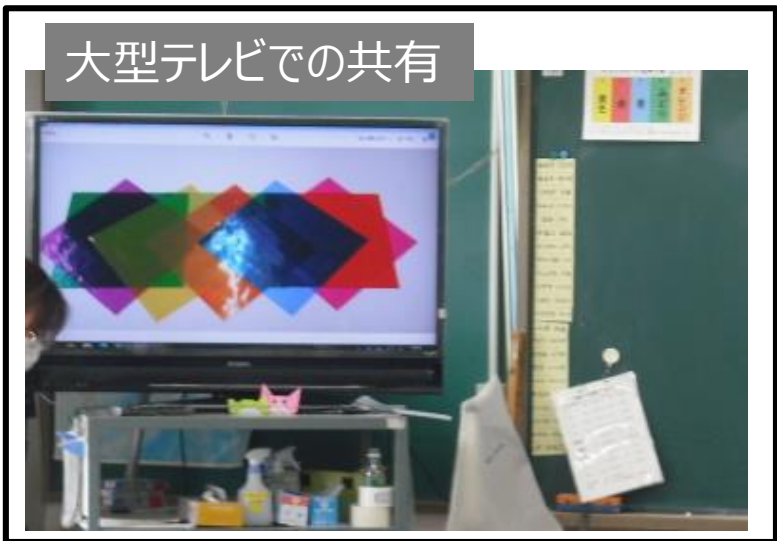
【ICTを効果的に活用するためのポイント】

- ・透明色紙を動かし、よい作品ができたと感じたら写真に残す。
- ・写真に残したら、透明色紙の位置や重なり方を変えたり、枚数を増やしたり、新しいものを作ったりして、再度写真に残す。
- ・撮影した写真を比較し、感じる印象の違いについて造形的な視点で考える。

【ICT活用のメリット】

- ・透明色紙を動かすことで変化する作品を、ICT端末のカメラ機能で写真に残せるため、安心して試しの活動ができたり、自分の作品の変容を確認することができたりする。

【事例におけるICT活用場面②】



【ICTを効果的に活用するためのポイント】

- ・写真は学習支援ソフトを活用して教師用ICT端末に送付する。
- ・大型テレビに投影し、自分や友達作品を全体で鑑賞する。
- ・自分の作品や面白さや、友達作品のよさを発表する。
- ・友達の説明を聴き、色や模様に対する見方や感じ方を広げる。
- ・新たな気づきを自分の作品に取り入れる見通しをもつ。

【ICT活用のメリット】

- ・大きな画面に投影することで、全員が作品の細かい部分まで鑑賞でき、全体での共有がしやすい。

【活用したソフトや機能】 ・学習支援ソフト
・ICT端末カメラ機能 写真撮影 ・大型テレビ